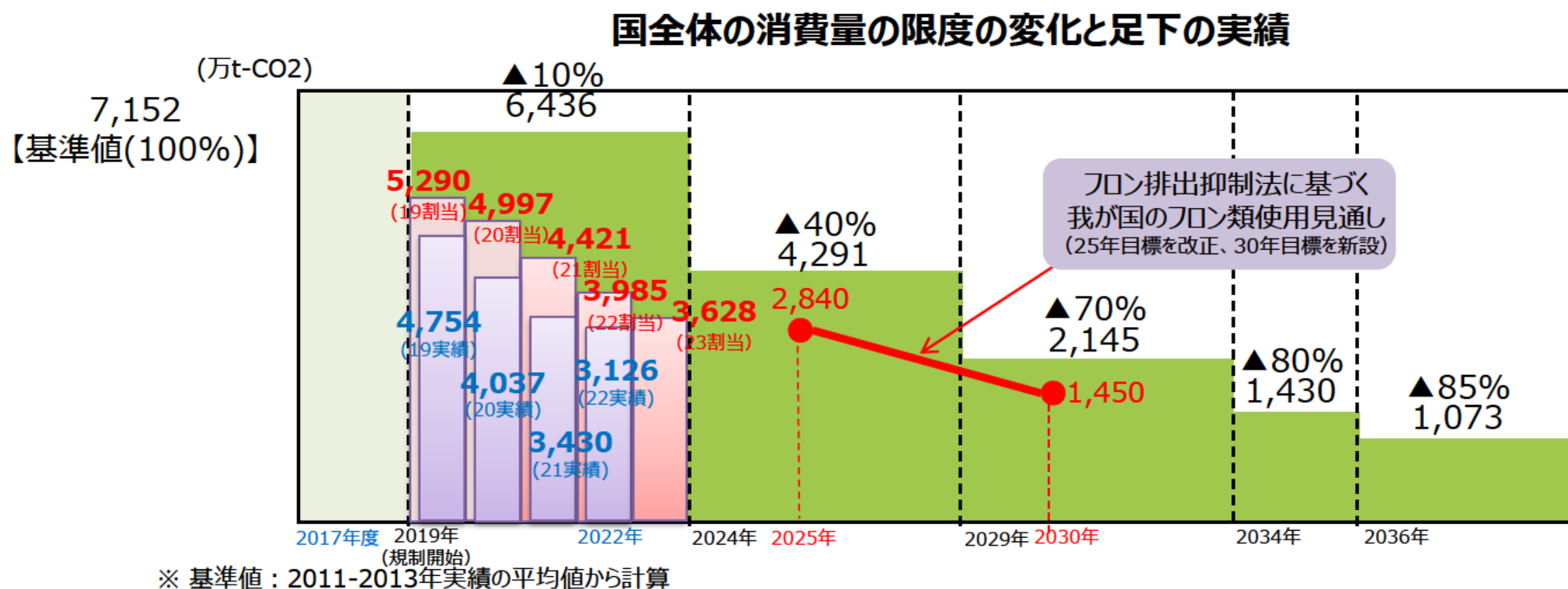


オゾン層保護法に基づく 2023年の割当て運用結果等について

令和6年3月22日
経済産業省 製造産業局
化学物質管理課 オゾン層保護等推進室

オゾン層保護法の運用結果（消費量）

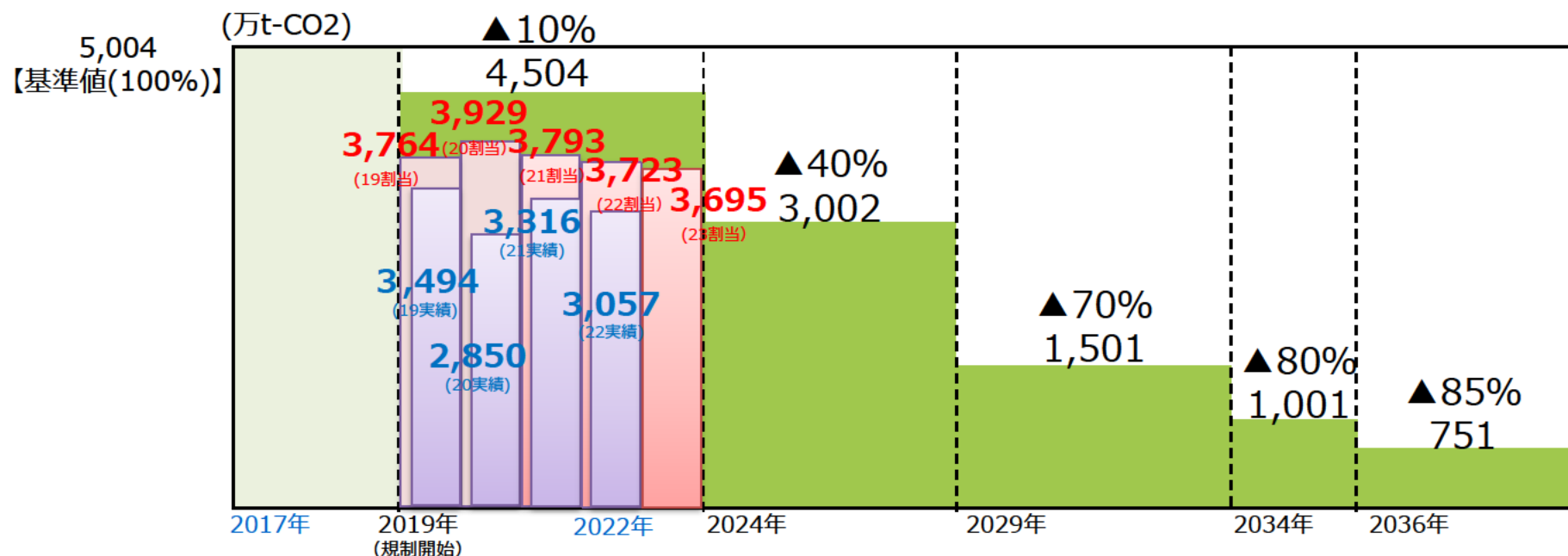
- 2023年消費量の割当ては、約3,628万t-CO₂（基本的運用と例外的運用の総計）。日本の基準値6,436万t-CO₂から44%程度の余裕を持って運用した（実績はこれを下回る）。
 - ・基本的運用：約3,532万t-CO₂（製造事業者 8社、輸入事業者 24社）
 - ・例外的運用：約96万t-CO₂（製造事業者 3社、輸入事業者 10社）
- ※例外的運用の主な用途は、例外的用途（消火剤、ぜんそく薬噴進剤、原料用途の未反応分（半導体）、試験研究用途等）



オゾン層保護法の運用結果（生産量）

- 2023年生産量の割当ては、約3,695万t-CO₂（基本的運用と例外的運用の総計）。日本の基準値4,504万t-CO₂から18%程度の余裕をもって運用した（実績はこれを下回る）。
- ・基本的運用：約3,663万t-CO₂（製造事業者 8社）
- ・例外的運用：約32万t-CO₂（製造事業者 3社）

国全体の生産量の限度の変化と足下の実績



※ 基準値：2011-2013年実績の平均値から計算

オゾン層保護法の運用結果（輸入数量・製造数量の実績）

- 2022年に輸入又は製造を行った者が3者以上の物質のみ実績を公表。
- 輸入されたHFCを種別で見ると、単一冷媒ではR-32が、混合冷媒ではR-410Aが多かった。（実トンベース）

HFC種別の輸入数量実績と製造数量実績（2022規制年度）

HFC種		GWP	輸入数量実績 (実t) (t-CO2)		製造数量実績 (実t) (t-CO2)	
単一 冷媒	R-134a	1,430	2,363	3,379,207	非公表	
	R-227ea	3,320	93	299,587	0	0
	R-32	675	3,774	2,547,201	非公表	
	R-125	3,500	1,593	5,574,152	0	0
	R-143a	4,470	0	0	0	0
	R-23	14,800	20	289,012	450	6,661,534
混合 冷媒	R-404A (125,134a,143a)	3,920	613	2,402,576	実績報告対象外	
	R-407C (32,125,134a)	1,770	303	537,831	実績報告対象外	
	R-410A (32,125)	2,090	4,177	8,719,834	実績報告対象外	
総計 ※公表できない物質を含む。			14,603	25,769,560	19,403	30,572,419

オゾン層保護法の運用結果（販売価格）

- 2020年7月以降の平均販売価格（末端価格）の推移全体を見ると、急激な高騰は見られないが、今後もモニタリングを継続的に実施していく予定。
- R-134aとR-32の値動きが激しく、R-32は高めに推移。
- 他方、混合冷媒（R-410A、R-404A、R-407C）の価格は比較的安定的に推移。

冷媒販売価格指数（2020年7月を1.0とした平均価格の推移）

